

令和5年11月20日

松阪市議会議長

坂口秀夫様

海住恒幸

研修報告（Web参加）

研修名 第23期自治政策講座 in 東京 II

主催 自治体議会政策学会

日時 2023年11月10日（金）

午前10時～11時30分

午後1時～2時30分

以下の2テーマで東京都内で開催された講座にリモートで参加しました。

テーマ1 「政策実現と質問力」

講師 江藤俊昭氏（大正大学教授）

（1）一般質問を議会のものに

一般質問を個人のものではなく、議会全体のものにしていく取り組みが必要。他の議員もその質問を聞いて重要性を認識し、議会として課題解決に取り組むきっかけとなるような一般質問にするならば意義はある。

【方法】

- ・一般質問検討会議を設置している事例
- ・重複質問の防止
- ・質問前に議会内に検討会議を開いて複数の議員で重複する質問内容を調整している事例
- ・模擬質問会の実施
- ・委員会代表質問の実施
- ・質問後、議会として答弁の追跡調査を行なっている事例。
- ・北海道芽室町議会では重要な質問内容を常任委員会の所管事務調査に加えている。

【所感】

個々の議員が行う一般質問の内容が政策提案として自治体の施策に反映されることもそうでないこともあります。その過程に議会が関与することはありません。一般質問はあくまでも議員個人の質問と解されているからです。このような一般質問について、江藤氏は、議員個人のものとして捉えるのではなく議会のものとしていくべきだとの考えを示されました。

様々な方法はあるでしょうが、質問通告の結果、複数の議員から同一テーマが通告されていることがわかれば、議会に設置する一般質問検討会議などで重複項目を調整することによって質問を一本化（議会代表質問化？）させる事例を挙げられました。このようにすることで同じ答弁を議会として聞くという非生産的な時間を避けることができる上、議会としてテーマを共通化することで質問に議会的意義を見いだそうとするものです。

このことから考えられるのは、質問内容に議会として意義を共通認識するものであるため、答弁の内容に対しても議会が注目し、政策実現していくものとなるか、議会としてチェックしていくことにつながることをねらいとするものであろう。

しかし、質問を行うことは個々の議員の議会活動のモチベーションでもあるので、答弁に対する検証活動などに、重複を避けるため質問できなかった議員の参画の場が得られるようすること等の配慮も必要だと思われます。

(2) 論点を明確にする議会に

・議員間討議の位置付け

質疑においては自己の意見は述べられないとなっているが、議員間討議の中で意見を述べ、論点を明確にすればよい。

・議会の討論の在り方

論点を明確にするため本会議の討論を3回まで認めている事例（反論の討論）がある。このことにより、論点を明確にしている。

・一般質問の日程は後回しにしている事例

一般質問の前に議案審査・討論・採決を行うことで議案論点の明確化に日程を集中させている（西脇市）。

【所感】

議会にとって一般質問よりも重要なのは議案質疑である。現状では議員個々の質疑があってもその質疑と答弁をもとに論点として整理されていない。議会として論点を明確にした上で委員会審査に入れば、本会議より付託される審査の意義も増すものと思われる。以前、決算審議において、本会議質疑と決算調査特別委員会の審査の間に一般質問が入っているが、一般質問の日程は後にしてほしいと意見したことがあるが、そのような事例があることがわかった。議案質疑に始まる論点整理と論点に基づいた議論を議会の中に位置付け、議案の是非を議論する議会とすることをつくづく願うものである。

テーマ2 「アフターコロナの財政課題」

講師 星野泉氏（明治大学教授）

社会保障関係費、地方交付税交付金等で歳出増。

一方、コロナ禍の時期の国税収入は、減収どころか、むしろ増えた。

R4年度 652,350 億円

R5年度 694,400 億円

要因は、法人税と消費税収入の増。

地方は、地方消費税収入と固定資産税の伸びが見られた。

【所感】

第2講座の方は理解が追いつかなかったのが現状だったが、一番印象に残ったのは「生活を

守るためなら減税ではなく、税を取れる人から取って貧しい人に回すのが財政学の基本」という部分だった。わたしはたまたまこの講座の前日、津市で開催された、地方債協会主催の研修「地方財政の展望と課題」（講師・総務省大臣官房審議官）に参加していて、講師がこども・子育て政策の強化に伴う財源は、税ではなく医療保険への上乗せ分を充てる旨の発言をしていたので、これはずるい方法でないかと思っていたところだった。そこで、今回の講座（リモート参加）で医療保険の上乗せで対応することについて財政学の立場からはどのように見るとチャット質問した。回答は「とんでもないこと。税で対応すべきだ」ということだった。国民の見えないところでコソコソ財源を確保し、一方でばらまかれたお金によって人気とりをしようとする姑息な方法だと思った。

以上